

誰にでもできるEC入門(1)

60号でインターネットのセキュリティについて書き、インターネット上での取り引きには十分注意する必要があるとしました。その舌の根の乾かないうちにEC(エレクトロニック・コマース:電子商取引)の入門の連載です。節操の無いようですが、現実には普及してきていますし、その内容を理解することはこれからの生活にも必要と考えます。

実際、インターネット上にはいろいろなものが売られています。パソコン、電化製品、食料品から骨董品、美術品、名産品、生花まで。ほとんどのものが売られているといっても過言ではないほどです。

これまで、ものの売買は近所の商店を中心に、ちょっとしたものは町のデパートに買って購入するものではなかったでしょうか。自家用車が普及していないころには徒歩で、それが自転車になって地元の商店街へ行ったものです。それが、自動車の普及によって家族で大型ショッピングセンターへ行くようになり、地元のこれまでの商店街が寂れて中心商店街の活性化が話題になって久しいこのごろです。まるで自動車文化のアメリカの真似をするかのように。そのアメリカで以前から普及していたものにカタログショッピングがありました。アメリカは国土が広く、なかなか近くにほしいものが無いときに、分厚いカタログを見ながら、家にいながら買い物のできるカタログショッピングは、確かにアメリカでは利用されるだろうけれども、国土の狭い日本ではそれほど普及しないのではないかとされているところもありましたが、実際どうでしょう。カタログショッピングの会社は何社もあり、テレビ、ラジオでも毎日のように放送しています。その次に来たのがインターネットの電子商取引、エレクトロニック・コマースです。取り引きの範囲は全世界へ広がり、情報はリアルタイムで新しくなります。これまでの一般商店街のように、本日のおススメ、特価品もできるのです。

ECは、考え方によっては、これまでの商取引を一変する可能性が有ります。例えば、実際に物を直接購入しなければならないものがどれだけ有るか考えたときに、生鮮食料品(これもどうにかならぬわけでは有りませんが)やすぐ必要となったもの(準備のなかった医薬品など)程度ではないでしょうか。これまでのカタログは写真が主でしたが、インターネットの場合、動画で見せることもでき、3次元データ(3D)となっていれば、商品の裏側からも見ることができます。インターネットTV電話が普及すれば話を聞くこともできます。また、もっとも販売形態が変わる可能性のあるものが、書籍、音楽CDではないでしょうか。書籍は、電子書籍として検討されていますが、印刷の必要は無くなりますし、これまでのように本屋で探して、内容を確認することもできます。音楽はすでにインターネットで配信されているものも有ります。実物は必要なくなる可能性が有ります。ものの流通形態が変わることは、いろいろなところで問題は出てきますが、誰にでもECは始めることはできるのです。(すいません実際の内容は次回からです、次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 9月21日号

特集 増殖する記憶メディア

→これまでパソコンで使われてきHDDやEEPROMなどの汎用記憶メディアが、デジタルデータの記憶媒体として、家庭を含めて増殖は始めている。これまで、もので流通していたものがインターネットやデジタル放送を通してデータとして流通し始めている。

解説 8プロセッサ構成のXeonサーバ機、日本メーカーが先陣切る

→アメリカも8プロセッサを発表しているが、出荷は日本が先行する。

○日経パソコン 9月21日号

特集 ここまでできるデジタルカメラ

→高性能のデジタルカメラが10万円を切り、すっかり身近になったデジタルカメラ。これまでのカメラとは違って画像を確認し、撮り直すこともできる。デジタルならではの可能性はアイデアでどれだけでも広がる。

特集 知って得するBIOSのすべて

→2000年問題とWin98の導入時の書き換えのために改めて注目されてきたBIOS。その成り立ちと現状を特集

レポート 翻訳ソフトを鍛える

→初期状態ではほとんど使えない翻訳ソフト。辞書ツールを使って鍛えれば使えるようになる。

○日経バイト 10月号

特集 デスクトップ・データベース再発見

→Oracleなどがデータベースサーバとして導入されることにより、個人のデータベースであったAccessなどのデスクトップDBの存在感が薄くなっていたが、モバイル活用や少人数のネットワークでの環境で、柔軟性などから改めて注目を浴び始めている。

特集 Alphaプロセッサの可能性

→インテルCPUに対抗できる最後のCPUであるDECのAlphaチップ。その可能性は

○ASCII 10月号

特集 2020未来環境

→20年前、8080CPUであったことを考えると、20年後はどうか予想すらできない。その中で想像してみれば。

特集 Windows 98&NT5.0β2の凄惨内容

→Win98を初めとして、今年後半に発表が予定されているソフトウェアの最新情報

特集 Windows 98アップグレードトラブルシューティング

→Win98のトラブルをインストール、アンインストール、ハードウェア、ソフトウェアに分けて解決法からテクニックまで

○ASCII DOS/V 11月号

特集 山崎マキコの作ってみたいの！スペシャル

→究極の自作1台。小さくて超Coolなマシン、税込み10万円ではっきり使えるマシン、ゲーマー大満足の30万円コースまで、こだわりの自作講座。

特集 非管理者のためのWindows NT 5.0 入門

→Windows NTの次期バージョン5.0。個人ユーザへの対応を進めるNTの状況は。

特集 Intel Full Force

→デスクトップの最高速Pentium II 450MHz、廉価版のCeleron 333MHz、ノートのMobile Pentium II 300MHzをそれぞれ搭載した最新マシンのベンチマークテスト報告。

○DOS/V magazine 10月15日号

特集 Slot 1 オーバードライブ極限テクニック

→クロックアップの基礎知識から、水冷&ペルチェによる究極テクニックまで

特集 USB完全使いこなし術

→Win 98で使えるようになったUSBの技術的基礎とデバイス総覧。

特集 Voodoo マニアックス

→Voodooは3D描画専用の画像チップで高速な描画と精密なグラフィックを実現する。ゲームユーザ御用達の画像ボードの基礎知識

